1. 防災（減災）対策の現状と今後の深化の方針について問う

日本列島各地で地震、記録的大雨による河川の氾濫、台風といった自然の猛威にさらされて、おびただしい人的、物的被害が発生している。火山活動も相変わらず活発な様相を見せておりいつ何が起きてもおかしくないと思える。

開成町ではここ数年平穏な日々が続き防災（減災）意識が薄れていないか危惧するところである。平成 28 年 3 月に「開成町地域防災計画」を修正しているがその実効性を改めて検証すべきと思える。一人の犠牲者も出さないことを目指す防災（減災）計画とすべきである。

そこで次の質問をする。

- ① 「地域防災計画」は毎年検討を加え、必要な修正をするとあるが本年度の実績は。また、計画の全体的な対応の流れを日頃から習熟しておくとするがその状況は。
- ② 平成 23 年 1 月の「開成町水害対策検討結果報告書」の内容は「地域防災計画」に反映されているのか。
- ③ 毎年実施される防災訓練への町民参加率の向上施策は。特に要援護者等についての計画は。
- ④ 町民の自助意識の喚起についてどう徹底していくのか（備蓄、避難方法）。
- ⑤ 避難の長期化に備え避難所運営、町民の健康維持の施策は。
- ⑥ 各地の災害から学ぶための情報収集手段の検討と「地域防災計画」へ反映しては。